

ぎがし 月報

加古川市議会事務局

平成28年(2016年)1月4日 No.519

平成27年第5回市議会(定例会)が開催されました

第5回市議会(定例会)は、12月4日から12月18日までの15日間の日程で行われました。会期中、平成27年度加古川市一般会計補正予算など市長提出議案15件と、議員提出議案の意見書案2件について審議され、すべて原案のとおり可決、または同意されました。一般質問は、12月7日及び8日に17人の議員によって行われました。また、請願3件が提出され、いずれも不採択となりました。

議決件数

区分	予算	条例	単行	人事	意見書	合計	請願
市長提出議案数	2	6	5	2		15	3
議員提出議案数					2	2	

議決結果

予算

【原案可決となったもの】(賛成多数)

議案名	議決日
平成27年度加古川市一般会計補正予算(第3回)	平成27年12月18日
平成27年度加古川市水道事業会計補正予算(第1回)	平成27年12月18日

条例

【原案可決となったもの】(全会一致)

議案名	議決日
加古川市指定地域密着型サービス事業者等の指定申請等手数料条例を定めること	平成27年12月18日
加古川市市税条例の一部を改正する条例を定めること	平成27年12月18日

【原案可決となったもの】(賛成多数)

議案名	議決日
加古川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例を定めること	平成27年12月18日
加古川市農業委員会の事務に関する手数料条例を定めること	平成27年12月18日
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例を定めること	平成27年12月18日
加古川市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を定めること	平成27年12月18日

単行

【原案可決となったもの】（全会一致）

議案名	議決日
東播磨農業共済事務組合理約の一部を改正する規約を定めること	平成27年12月18日
市道路線認定のこと	平成27年12月18日
市道路線廃止のこと	平成27年12月18日
指定管理者の指定のこと（加古川市立別府公民館）	平成27年12月18日

【原案可決となったもの】（賛成多数）

議案名	議決日
地方独立行政法人加古川市民病院機構第2期中期目標を定めること	平成27年12月18日

人事

【原案同意となったもの】（全会一致）

議案名	議決日
加古川市固定資産評価審査委員会委員選任につき同意を求めること （伊藤 治・前田 勢一）（敬称略）	平成27年12月18日

意見書案

【原案可決となったもの】（賛成多数）

件名	議決日
外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書	平成27年12月18日

外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書
（要旨）

税負担の公平性を確保する観点から、国外居住親族に係る扶養控除制度のさらなる厳格運用を国に求める。

【原案可決となったもの】（全会一致）

件名	議決日
子ども・子育て支援新制度に対する意見書	平成27年12月18日

子ども・子育て支援新制度に対する意見書
（要旨）

子ども・子育て支援法の趣旨をふまえ、取り組みのいっそうの推進が図られるよう、以下の項目について国に要望する。

- 1 子ども・子育て支援新制度の実施にあたっては、子どもの健やかな育ちが等しく保障されるよう、必要財源を早急に確保し、関連予算を大幅に増額すること。
- 2 保育施設の開所日数、開所時間に見合う単価設定など、実態をふまえて公定価格を改善すること。
- 3 保育の質を確保・向上させるために職員の処遇、配置基準を抜本的に改善すること。
- 4 保育料など保護者負担を引き下げること。

請願

【不採択となったもの】（賛成少数）

件名	議決日
加古川市民病院跡地利用についての請願	平成27年12月18日
安全保障関連2法（国際平和支援法・平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書採択について（請願）	平成27年12月18日

議案名	議決日
安全保障関連2法（国際平和支援法・平和安全法制整備法）の廃止を求める意見書採択についての請願	平成27年12月18日

一般質問

一般質問では、17人の議員が質問に立ち、各部長から答弁がありました。各議員の質問項目は次のとおりです。（※質問者の順に掲載しています）

○織田 正樹（志政加古川）

【一問一答方式】

1. 加古川市の公園整備とスポーツ振興について

○渡辺 征爾（新市民クラブ）

【一括方式】

1. 市役所業務の見える化の推進について

○井上 津奈夫（無会派）

【一括方式】

1. 高齢者が健康で生きがいをもって暮らせる加古川市を目指すことについて
2. ごみの減量化の取り組みについて

○松本 裕一（志政加古川）

【一問一答方式】

1. 本市の中学校教育における部活動のあり方について

○高木 英里（無会派）

【一括方式】

1. 改定介護保険法の問題と要支援者サービスを守るための課題について

○中村 亮太（創政会）

【一括方式】

1. 高齢者の見守りについて

○山本 一郎（創政会）

【一括方式】

1. 「投票しやすい環境づくり」と選挙の広報について

○落合 誠（創政会）

【一問一答方式】

1. 登下校の安全対策について
2. 妊娠期からの切れ目のない子育て支援の充実（加古川流ネウボラ）について

○福岡 照文（創政会）

【一括方式】

1. 「ごみ減量の推進と、さらなる資源化に向けて」

○相良 大悟（公明党議員団）

【一問一答方式】

1. AEDの更なる普及とバイスタンダーのケア体制について
2. 加古川の魅力発信戦略について

○建部 正人（志政加古川）

【一問一答方式】

1. ごみ処理広域化に向けたごみ減量推進について

○畑 広次郎（新市民クラブ）

【一括方式】

1. 加古川市立少年自然の家と自然学校について
2. 加古川市のスポーツ施設の利用料金について

○松本 裕之（志政加古川）

【一問一答方式】

1. 日岡山公園整備等に関わる周辺道路整備について

○桃井 祥子（公明党議員団）

【一括方式】

1. 18歳選挙権導入について
2. 期日前投票の環境改善の取り組みについて
3. 高齢者施策について

○井上 隆司（創政会）

【一括方式】

1. 本市における公共施設の老朽化の現状とその対応策について

○岸本 建樹（無会派）

【一括方式】

1. 地域医療構想と東・西市民病院について
2. 中学校給食の早期実現を求めることについて

○西村 雅文（志政加古川）

【一問一答方式】

1. 平成28年度使用中学校教科用図書加印採択地区協議会について

12月9日、10日、11日に各常任委員会を開催しました

付託案件審査を除く項目は次のとおりです。

■総務教育常任委員会 (12月9日開催)

所管事務に関する調査

〔企画部〕

- ◇加古川西市民病院跡地活用に伴う「対話」の結果について

〔総務部〕

- ◇ふるさと納税推進事業の記念品の募集等について

〔教育指導部〕

- ◇平成28年加古川市成人式について
- ◇平成27年度全国学力・学習状況調査結果について
- ◇「いじめ相談シート調査」集計及び分析結果について

■建設経済常任委員会 (12月10日開催)

所管事務に関する調査

〔地域振興部〕

- ◇「森はな先生からのメッセージ～市原悦子さんを迎えて～」開催結果について

■福祉環境常任委員会 (12月11日開催)

所管事務に関する調査

〔市民部〕

- ◇マイナンバーコールセンターの問合せ状況及び通知カードの交付状況並びに返戻状況について

〔環境部〕

- ◇ごみ処理広域化の進捗状況について
- ◇ごみ処理手数料の見直しについて

〔こども部〕

- ◇児童扶養手当の過誤払いについて

質問事項

- ◇子育て世代包括支援センターについて

視察報告

市議会の各常任委員会及び議会運営委員会では、先進的な取り組みを本市の市政向上に役立てることを目的に他都市を視察しています。

今月号では、福祉環境常任委員会の視察報告書を、要約のうえ掲載します。

福祉環境常任委員会 (日時：平成27年10月28日～30日) 報告者 委員長 相良 大悟

<視察先及び内容・所感>

①東京都文京区「文京版ネウボラ事業について」

事業の概要

ネウボラとはフィンランド語の「neuvo=アドバイス」と「la=場所」併せて「アドバイスの場」という意味で、妊娠から出産育児期にわたる総合的な相談支援を行い、より身近で妊産婦等を支えることを目的とした支援制度である。文京区では、出生数の増加、高齢初産婦の増加、核家族の増加という背景の中、より身近な場で妊産婦等を支える仕組みとして、母子保健コーディネーターの配置、パパを含めた交流や相談支援、産褥期における宿泊型ショートステイなど、さまざま事業を実施している。また、継続的な支援をしていくことにより、児童虐待への予防の要素なども含まれている。

視察を終えての所感

この事業の財源は、国の妊婦・出産包括支援事業（国庫補助率1/2）と都の補助を活用している。本市においてもこのような事業を実施するためには、国・県との財源調整が必要である。また、人材確保や関係部署の連携の組織づくりなど、課題等も多くあるように思われた。

②千葉県習志野市「生活困窮者自立支援制度（学習支援）について」

事業の概要

習志野市では、生活と仕事の総合相談窓口として、生活困窮者自立支援法に基づき平成27年4月1日に「らいふあっぷ習志野（習志野市生活相談支援センター）」を開設し、経済的な問題などで学習困難な状態にある子どもが将来、経済的かつ社会的に自立した生活を送れるよう「基礎学力の習得」「高校進学率の向上」「貧困の連鎖の防止」を図るため、この事業を実施している。



▲「らいいあっぷ習志野」の入り口

視察を終えての所感

習志野市の学習支援は、本制度開始前の平成21年度から生活保護受給世帯の中学生を対象として行われていた。しかし、高校に進学しても中退する者がいる現状を踏まえ、平成27年度から高校生も対象としている。受講者の高校進学率は100%で効果を上げている一方、受講率が低いため、受講者を増やす施策が必要だと思われる。卒業後の就労先、就労状況の確認、家計支援等、本市においても貧困の連鎖を生まないような支援が重要であると感じた。

③千葉県習志野市「発達支援『習志野方式』について」

事業の概要

習志野市では、ひまわり発達相談センターを中心に乳幼児期からソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）の推進をねらいとして、子どもを取りまく関係機関の緊密な連携・協力体制を作り上げている。それは「習志野方式」としてマニュアル化されており、質の高い発達支援施策を実施している。

視察を終えての所感

本市のこども療育センターの事業との比較は難しいが、発達の程度に関わらず、発達支援について、市民、障がいのある子どもの保護者、障がい福祉サービス事業所、障がい者団体の関係者、町内会、まちづくり会議関係者等と、発達支援に関わる関係部署の職員が連続して関わる体制については、学ぶところがあると思われる。

④千葉県野田市「ごみ減量化の取り組みについて（指定ごみ袋制度導入とその効果について）」

事業の概要

野田市は、1人1日当たりのごみの排出量が近隣自治体より20%以上も多く、約1kgあったことから、平成7年度から指定ごみ袋制度の導入と粗大ごみの有料化を実施し、大幅なごみの減量化を図った。その結果、ごみ排出量が30%削減され、1人1日当たりの排出量は約700gになった。さらに、コスト面についても約3億円のコストダウンを達成している。

視察を終えての所感

指定ごみ袋は、可燃ごみと不燃ごみとあわせて、年間150枚が必要となるが、無料配付しているのは120枚である。ごみ袋が足りない場合は、住民がごみを出す回数を減らすか、高いごみ袋を追加で購入することが必要である。このことは、各自がごみを減らす工夫など、市民のごみ減量に対する意識の高揚にもなっている。また、剪定枝の無料回収などきめ細かい資源ごみの分別も行っており、本市においても参考となる取り組みが多くあった。



▲平成27年度版「野田市のごみのだし方」パンフレットより

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ 議 会 の う ご き ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

—— 1月・2月の常任委員会開催予定 ——

日(曜日)	日 程	日(曜日)	日 程
1月		2月	
19日(火)	総務教育常任委員会	18日(木)	総務教育常任委員会
20日(水)	建設経済常任委員会		建設経済常任委員会
21日(木)	福祉環境常任委員会		福祉環境常任委員会

※開会時刻はいずれの日も午前9時30分の予定です。

—— 平成28年第1回市議会(定例会)の開催予定 ——

日(曜日)	日 程
2月26日(金)	[第1日] 平成27年度補正予算上程(質疑・委員会付託) 市長施政方針 平成28年度予算及び関係議案等上程(提案説明)
3月3日(木)	常任委員会(総務教育・福祉環境・建設経済) 補正予算等
4日(金)	[第2日] 代表質問
7日(月)	[第3日] 一般質問
8日(火)	[第4日] 一般質問
9日(水)	[第5日] 委員会審査報告(質疑・討論・採決) 平成28年度予算質疑(委員会付託)
11日(金)	[第6日] 条例・単行議案質疑(委員会付託)
14日(月)	常任委員会(総務教育) 予算審査
15日(火)	常任委員会(福祉環境) 予算審査
16日(水)	常任委員会(建設経済) 予算審査
25日(金)	[第7日] 委員会審査報告(質疑・討論・採決)、追加議案上程(即決) ※開会時刻はいずれの日も午前9時30分の予定です。

<発行> 加古川市議会事務局 総務課
〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000
電話：079-427-9304・FAX：079-424-9043
E-mail:gikai_soumu@city.kakogawa.hyogo.jp
※ご意見などがございましたら、議会事務局までお寄せください。